

学校法人イーエスピー学園

2022年度事業報告

I. 法人概要

1. 建学の精神

音楽・楽器を創造することを通じて豊かな人格を形成し、さらに自己の可能性を追求する人材の育成

2. 沿革

| | |
|----------------|--|
| 1975年 | ギターリペア講習会開催。 |
| 1983年 | (株)イー・エス・ピーのバックアップにより、ギタークラフトマン、リペアマン養成を目的とする「日本ギター製作学院」(1年制)を設立。 |
| 1984年 | 第1期卒業生を対象に研究科を設置、開講。 ポップ・ミュージック分野のプレイヤー養成を目的とする「日本創作音楽学院」(2年制)を設立。 |
| 1985年 | ピアノ調律技術者、管楽器リペア技術者の養成を目的とする「日本ピアノ調律師養成学院」(1年制)を設立。 同時に左記3校を組織化し、「ESP ミュージカルアカデミーグループ」とする。 「楽器フェア」に「日本ギター製作学院」学生作品を初めて出品。以後毎回出品を続ける。 |
| 1986年 | 東京都新宿区下落合に1号館完成。 「日本ギター製作学院」と「日本ピアノ調律師養成学院」を移転。 |
| 1987年 | 「日本ギター製作学院」と「日本ピアノ調律師養成学院」を合併し「専門学校イーエスピーミュージカルアカデミー」として専修学校の設置申請。 同時に「イーエスピー学園」として学校法人を設立申請。 ともに認可され、この分野初の学校法人認可校となる。 |
| 1989～ 1999年 | 本館、2号館～10号館完成 |
| 2000年 | 文部大臣(現文部科学大臣)告示により、1999年度卒業生から「専門士」の称号が付与される。 |
| 2002～ 2004年 | 11号館～13号館完成。 |
| 2005年 | 大阪・梅田に総合エンタテインメントの専門学校「専門学校イーエスピーエンタテインメント」開校。 東京・原宿にダンスと声優の専門学校「専門学校原宿パフォーマンスビレッジ」開校。 |
| 2006年 | 専門学校原宿パフォーマンスビレッジ2号館完成。 |
| 2007年 | 「専門学校原宿パフォーマンスビレッジ」を「専門学校ESPパフォーマンスビレッジ」に校名変更。 専門学校イーエスピーエンタテインメント本館完成。 |
| 2013年 | 「専門学校ESPパフォーマンスビレッジ」を「ESPアニメーション声優専門学校」に校名変更。 |
| 2015～ 2016年 | 14号館・15号館完成。 |
| 2017年 | イーエスピー学園創立30周年。 16号館完成。 福岡県に総合エンタテインメントの専門学校「専門学校ESPエンタテインメント福岡」開校認可申請。 |
| 2018年 | 「専門学校イーエスピーミュージカルアカデミー」から「専門学校ESPエンタテインメント東京」に校名変更。 「専門学校イーエスピーエンタテインメント」から「専門学校ESPエンタテインメント大阪」に校名変更。 「専門学校ESPアニメーション声優専門学校」から「専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京」に校名変更。 |
| 2021年 | BaBa hatchビル改装、校舎へ用途変更。 |

3. 設置する学校・学部・学科等

(1) 専門学校E S Pエンタテインメント東京

所在地：〒169-0075 東京都新宿区高田馬場3-3-19

設置認可：1987年2月2日、同年4月開校

分野：文化・教養

設置学科

- ・音楽アーティスト科
- ・芸能タレント科
- ・音楽芸能スタッフ科
- ・ギタークラフト科3年制
- ・ギタークラフト科2年制
- ・管楽器リペア科
- ・ピアノ調律科
- ・楽器技術科3年制
- ・楽器技術研究科

(2) 専門学校E S Pエンタテインメント大阪

所在地：〒531-0072 大阪府大阪市北区豊崎3-2-1-7

設置認可：2005年2月4日、同年4月開校

分野：文化・教養

設置学科

- ・音楽アーティスト科
- ・声優芸能科
- ・音楽芸能スタッフ科
- ・音楽アーティスト科Ⅱ部（夜間部）
- ・音楽芸能スタッフ科Ⅱ部（夜間部）

(3) 専門学校E S Pエンタテインメント福岡

所在地：〒810-0073 福岡県福岡市中央区舞鶴3-1-6

設置認可：2018年3月16日、同年4月開校

分野：文化・教養

設置学科

- ・音楽アーティスト科
- ・声優芸能科
- ・音楽芸能スタッフ科
- ・音楽アーティスト科Ⅱ部（夜間部）
- ・音楽芸能スタッフ科Ⅱ部（夜間部）

(4) 専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

所在地：〒169-0075 東京都新宿区高田馬場4-5-8

設置認可：2004年11月1日、2005年4月開校

2018年4月に東京都新宿区に位置変更

分野：文化・教養

設置学科

- ・ミュージックアーティスト科
- ・ミュージックアーティスト研究科

4. 学部・研究科等の入学定員、学生数の状況

| 学科 | 入学定員 | 入学者数 | 学生総数 |
|--------------------------|-------|-------|-------|
| 専門学校ESPエンタテインメント東京 | 700 | 492 | 941 |
| 専門学校ESPエンタテインメント大阪 | 592 | 401 | 766 |
| 専門学校ESPエンタテインメント福岡 | 240 | 149 | 269 |
| 専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京 | 96 | 72 | 120 |
| 合計 | 1,628 | 1,114 | 2,096 |

5. 役員・教職員の人数（2022年5月時点）

(1) 役員理事 5名（定員5名） 監事 2名

| 職名 | 氏名 | 常勤・非常勤 |
|-----|--------|--------|
| 理事長 | 渋谷 妙子 | 常勤 |
| 理事 | 矢島 鎗司 | 非常勤 |
| 理事 | 日向 美智子 | 非常勤 |
| 理事 | 鴻井 洋一 | 常勤 |
| 理事 | 藤森 利彦 | 非常勤 |
| 監事 | 山本 浩晴 | 非常勤 |
| 監事 | 村井 清司 | 非常勤 |

(2) 評議員定員11名

| 氏名 | 常勤・非常勤 |
|--------|--------|
| 渋谷 妙子 | 常勤 |
| 渋谷 知香 | 常勤 |
| 鴻井 洋一 | 常勤 |
| 亀田 秀幸 | 常勤 |
| 高田 晋 | 常勤 |
| 長谷川 英律 | 常勤 |
| 井熊 剛 | 常勤 |
| 芦浦 健太郎 | 非常勤 |
| 佐藤 澄子 | 非常勤 |
| 菅原 英明 | 非常勤 |
| 日向 美智子 | 非常勤 |

(3) 教職員の概要 (単位：人)

| | 教員 | | 職員 | 合計 |
|--------------------------|-----|-----|-----|-----|
| | 専任 | 兼任 | | |
| 学校法人本部 | 0 | 0 | 13 | 13 |
| 専門学校E S Pエンタテインメント東京 | 96 | 147 | 37 | 280 |
| 専門学校E S Pエンタテインメント大阪 | 31 | 60 | 35 | 126 |
| 専門学校E S Pエンタテインメント福岡 | 29 | 42 | 13 | 84 |
| 専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京 | 13 | 30 | 9 | 52 |
| 合計 | 169 | 279 | 107 | 555 |

6. その他

当学園の各校はアメリカ・ハリウッドにある Musicans Insutitute とは姉妹校です。

II. 事業概要

1. 事業の概要

学校法人イーエスピー学園は、1983年に既存の専門学校ESPエンタテインメント東京の前身である日本ギター製作学院を創設以来、「建学の精神に基づき、エンタテインメントに関する高度かつ最新の知識や技術を修得し、感動を創造できる人材の育成に力を注ぐ。」という教育の理念のもと、母体であるギターメーカー「(株)イー・エス・ピー」との強力な連携、音楽・楽器を始めとしたエンタテインメント業界との幅広く強固なネットワークを活かし、社会や時代のニーズを捉えた先進的な職業教育を行い、多くの活躍する卒業生を輩出してきました。

今後も、時代の変化とともに求められるエンタテインメント各分野に関する最新技術の修得した人材を育成・輩出する専門学校として、その先導的役割を果たしていきます。

一方、近年のSNSの普及や、音楽配信の形態変化が進み、産業構造が大きく変化してきています。

加えて少子高齢化に伴う生産年齢人口の減少が進み、総じて我々を取り巻く社会環境は大きな変革期を迎えています。

このような中におきまして、エンタテインメント業界や進学希望者のニーズに対応するため、本学園ではESPエンタテインメント東京、ESPエンタテインメント大阪、ESPエンタテインメント福岡、ミュージシャンズ・インスティテュート東京の4校を設置し、それぞれのニーズに合わせた教育環境を提供し、引き続き教育理念に沿った教育を行ってまいります。

2. 主な事業の目的・計画及びその進捗状況

事業計画に基づき、学習環境の整備を継続して行っています。

昨年度より校舎の外壁改修及び屋上防水工事を順次進めていますが、ESPエンタテインメント東京12号館及び13号館の工事が終了しました。

2023年度にはESPエンタテインメント東京9号館の外壁改修及び屋上防水工事を予定しています。

今後も、教育的効果を向上させるための整備を計画的に推進してまいります。

3. 施設等の状況

現有施設設備の所在地等の説明

主な施設設備の状況は次のとおりである。

専門学校 ESP エンタテインメント東京

| 名称 | 所在地 | 校地面積 | 校舎面積 | 備考 |
|-------------|-----------------|-----------------------|------------------------|-----------------|
| 本館 | 新宿区高田馬場3丁目3番19号 | 624.52 m ² | 1506.67 m ² | 鉄筋コンクリート |
| 1号館 | 新宿区下落合4丁目1番12号 | 158.63 m ² | 588.92 m ² | 鉄筋コンクリート |
| 2号館 | 新宿区下落合1丁目8番10号 | 109.35 m ² | 324.91 m ² | 鉄骨その他 |
| 4号館 | 新宿区下落合2丁目6番6号 | 136.99 m ² | 608.05 m ² | 鉄骨その他 |
| 5号館 | 新宿区下落合1丁目11番3号 | 88.63 m ² | 229.08 m ² | 鉄骨その他 |
| 9号館 | 新宿区高田馬場3丁目3番24号 | 229.28 m ² | 435.96 m ² | 鉄筋コンクリート |
| 10号館 | 新宿区高田馬場4丁目2番34号 | 316.42 m ² | 782 m ² | 鉄筋コンクリート |
| 12号館 | 新宿区高田馬場3丁目4番7号 | 705.16 m ² | 2277.55 m ² | 鉄筋コンクリート |
| 13号館 | 新宿区高田馬場3丁目4番6号 | 376.21 m ² | 879.61 m ² | 借用(土地)、鉄筋コンクリート |
| 14号館 | 新宿区高田馬場3丁目3番21号 | 361.91 m ² | 701.69 m ² | 鉄筋コンクリート |
| 15号館 | 新宿区下落合2丁目6番7号 | 155.33 m ² | 608.28 m ² | 鉄骨その他 |
| 16号館 | 新宿区高田馬場3丁目4番17号 | 384.88 m ² | 1246.16 m ² | 借用(土地)、鉄筋コンクリート |
| BaBa hatch | 新宿区高田馬場3丁目4番11号 | 136.72 m ² | 428.72 m ² | 鉄筋コンクリート |
| 本館東側 休憩所 | 新宿区高田馬場3丁目3番19号 | 105.68 m ² | — m ² | |
| 倉庫 | 新宿区下落合1丁目8番 | 88.97 m ² | 136.08 m ² | 鉄骨その他 |

専門学校 ESP エンタテインメント大阪

| 名称 | 所在地 | 校地面積 | 校舎面積 | 備考 |
|---------|-----------------|------------------------|------------------------|----------|
| 1号館 | 大阪市北区豊崎3丁目21番7号 | 1047.86 m ² | 1746.07 m ² | 鉄筋コンクリート |
| 本館(2号館) | | | 3648.02 m ² | 鉄筋コンクリート |

専門学校 ESP エンタテインメント福岡

| 名称 | 所在地 | 校地面積 | 校舎面積 | 備考 |
|----|-----------------|-----------------------|------------------------|----------|
| 本館 | 福岡市中央区舞鶴3丁目1番6号 | 316.12 m ² | 1722.18 m ² | 鉄筋コンクリート |

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

| 名称 | 所在地 | 校地面積 | 校舎面積 | 備考 |
|----|----------------|-----------------------|-----------------------|----------|
| 本館 | 新宿区高田馬場4丁目5番8号 | 188.88 m ² | 545.31 m ² | 鉄骨その他 |
| 別館 | 新宿区高田馬場4丁目6番1号 | 280.52 m ² | 821.67 m ² | 鉄筋コンクリート |

4. その他

- (1) 当該年度の重要な契約 特になし。
- (2) 係争事件の有無とその経過 特になし。
- (3) 決算日後に生じた学校法人の状況に関する重要な事実 特になし。

III. 財務の概要

1. 決算の概要

(1) 事業活動収支計算書の概要

- ① 教育活動収入は 30.2 億円で前年比 10.7%減少となりました。
教育活動収入のうち学生生徒等納付金は 28.1 億円で、前年と比べ 3.6 億円減収となりました。
これは主に長引く新型コロナウイルスの影響により学生数が減少したことによります。
- ② 教育活動支出は 31.2 億円で前年比 0.3%の減少となりました。
雇用契約に基づくものは人件費、基づかないものは支払報酬勘定に表示することとしました。前年度から同様の処理を行っていた場合には人件費 0.6%の増加、教育研究経費 0.8%の減少、管理経費 0.3%の増加となりました。
オープンキャンパスの開催など前年に引続き回数の制限、参加人数の制限など新型コロナウイルスの対策を行いつつの開催を行ってまいりました。
その結果教育活動収支差額は△0.9 億円となり前年に比べ 3.5 億円の減少となりました。
- ③ 教育活動外収支は経常的な財務活動による収支であり収支差額は 0.5 百万円となり、その結果、経常収支差額は△0.9 億円となりました。
- ④ 特別収支は資産売却収入と売却損の金額であり、特別収支差額は 3 百万円となりました。
以上の結果、基本金組入前収支差額は△0.9 億円となり、前年に比べ 3.6 億円の減少となりました。本年度は収入額よりも支出額が多くなりましたが支出額の内、資金を伴わない減価償却費 4.2 億円を含んでおりますので資金的には大きな影響はございません。

(2) 貸借対照表の概要

- ① 資産の部
固定資産では 4.0 億円の減少となっておりますが、こちらは主に減価償却費 4.2 億円と校舎外壁工事などによる建物 0.4 億円の増加によるものとなります。
流動資産では 1.5 億円の減少となっておりますが、これは主に未収入金 1.2 億円の減少によるものとなります。
- ② 負債の部
流動負債では 4.5 億円の減少となっておりますが、これは主に前受金の減少 2.1 億円と借入金の返済 1.2 億円によるものとなります。
これにより借入金残高はなくなり翌年度以降の資金的な負担が軽減されました。
- ③ 純資産の部
建物の増加および借入金の返済等により 1.4 億円の基本金組入れを行っております。

2. 経年比較

(1) 貸借対照表 令和5年3月31日 (単位:円)

| 科目 | 前年度末 | 本年度末 | 増減 |
|-------------|----------------|----------------|--------------|
| 資産の部 | | | |
| 固定資産 | 24,235,351,131 | 23,835,121,905 | -400,229,226 |
| 有形固定資産 | 15,235,928,611 | 14,878,672,113 | -357,256,498 |
| その他の固定資産 | 8,999,422,520 | 8,956,449,792 | -42,972,728 |
| 流動資産 | 3,485,309,952 | 3,333,354,940 | -151,955,012 |
| 現金預金 | 3,232,228,705 | 3,213,530,757 | -18,697,948 |
| その他流動資産 | 253,081,247 | 119,824,183 | -133,257,064 |
| 資産の部合計 | 27,720,661,083 | 27,168,476,845 | -552,184,238 |
| 負債の部 | | | |
| 固定負債 | 0 | 0 | 0 |
| 流動負債 | 2,467,882,018 | 2,008,702,537 | -459,179,481 |
| 負債の部合計 | 2,467,882,018 | 2,008,702,537 | -459,179,481 |
| 純資産の部 | | | |
| 基本金 | | | |
| 第1号基本金 | 20,801,314,589 | 20,941,330,453 | 140,015,864 |
| 第4号基本金 | 222,000,000 | 222,000,000 | 0 |
| 基本金合計 | 21,023,314,589 | 21,163,330,453 | 140,015,864 |
| 繰越収支差額 | | | |
| 翌年度繰越収支差額 | 4,229,464,476 | 3,996,443,855 | -233,020,621 |
| 純資産の部合計 | 25,252,779,065 | 25,159,774,308 | -93,004,757 |
| 負債及び純資産の部合計 | 27,720,661,083 | 27,168,476,845 | -552,184,238 |

(2) 事業活動収支計算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで (単位：円)

| 教育活動 | 事業活動収入の部 | 科目 | 前年度 | 本年度 | 増減 |
|-------|----------|---------------|---------------|---------------|--------------|
| | | 学生生徒等納付金 | 3,180,125,600 | 2,814,440,165 | -365,685,435 |
| | | 手数料 | 22,431,744 | 18,532,410 | -3,899,334 |
| | | 経常費等補助金 | 179,906,833 | 185,500,582 | 5,593,749 |
| | | 付随事業収入 | 5,593,356 | 6,086,786 | 493,430 |
| | | 雑収入 | 1,301,014 | 1,820,871 | 519,857 |
| | | 教育活動収入計 | 3,389,358,547 | 3,026,380,814 | -362,977,733 |
| 教育活動 | 事業活動支出の部 | 人件費 | 1,100,329,432 | 669,805,515 | -430,523,917 |
| | | 教育研究経費 | 1,427,246,829 | 1,846,804,544 | 419,557,715 |
| | | 管理経費 | 604,679,456 | 606,355,119 | 1,675,663 |
| | | 教育活動支出計 | 3,132,255,717 | 3,122,965,178 | -9,290,539 |
| | | 教育活動収支差額 | 257,102,830 | -96,584,364 | -353,687,194 |
| 教育活動外 | 収入の部 | 受取利息・配当金 | 792,707 | 695,634 | -97,073 |
| | | その他の教育活動外収入 | 6,895,433 | 83,200 | -6,812,233 |
| | | 教育活動外収入計 | 7,688,140 | 778,834 | -6,909,306 |
| | 支出の部 | 借入金等利息 | 1,382,140 | 231,968 | -1,150,172 |
| | | その他の教育活動外支出 | 32,970 | | -32,970 |
| | | 教育活動外支出計 | 1,415,110 | 231,968 | -1,183,142 |
| | | 教育活動外収支差額 | 6,273,030 | 546,866 | -5,726,164 |
| | | 経常収支差額 | 263,375,860 | -96,037,498 | -359,413,358 |
| 特別 | 収入の部 | 資産売却差額 | 8,078,388 | 3,032,753 | -5,045,635 |
| | | その他の特別収入 | | | |
| | | 特別収入計 | 8,078,388 | 3,032,753 | -5,045,635 |
| | 支出の部 | 資産処分差額 | 87 | 12 | -75 |
| | | その他の特別支出 | | | |
| | | 特別支出計 | 87 | 12 | -75 |
| | | 特別収支差額 | 8,078,301 | 3,032,741 | -5,045,560 |
| | | 〔予備費〕 | | | |
| | | 基本金組入前当年度収支差額 | 271,454,161 | -93,004,757 | -364,458,918 |
| | | 基本金組入額合計 | -776,447,128 | -140,015,864 | 636,431,264 |
| | | 当年度収支差額 | -504,992,967 | -233,020,621 | 271,972,346 |
| | | 前年度繰越収支差額 | 4,734,457,443 | 4,229,464,476 | -504,992,967 |
| | | 基本金取崩額 | 0 | 0 | 0 |
| | | 翌年度繰越収支差額 | 4,229,464,476 | 3,996,443,855 | -233,020,621 |